

商業「ビジネス基礎」	単位数	3単位
	学科・学年・学級	全学科 第1学年A～F組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得すること 経済社会の一員として望ましい心構えを身につけること ビジネスの諸活動に適切に対応する能力や態度を身につけること
使用教科書	「ビジネス基礎」 (東京法令出版) 副教材 「珠算・電卓実務検定模擬問題集」2・3級 (暁出版・実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲		
第1学期	1 商業の学習ガイダンス (1)商業を学ぶ目的と学び方 1.商業を学ぶ目的 2.ビジネスの理解力・実践力 3.豊かな人間性 4.経済社会の発展をはかる能力・態度 5.商業の学び方 (2)商業学習分野と職業 1.商業の学習分野と該当科目 2.自己理解と職業の理解 3.商業の学習分野と将来のキャリア	4	商業を学ぶ目的とは何か, 商業をどのように学んだらよいかについて関心を持たせる。	商業すべての科目の学習と関連します。 シラバスや学校要覧を参考にします。	中間 考 査		
			商業の学習分野を学ぶことは, 将来よりよい職業人として生きていくために重要な役割があることに気付かせる。				
		2 ビジネスと売買取引 (1)売買取引の方法 1.売買契約 2.売買条件 3.売買契約の締結と履行 4.競争売買 (2)代金決済の方法 1.通貨 2.小切手 3.約束手形 4.為替手形 (3)電子商取引と代金決済 1.電子商取引の仕組みと分類 2.電子商取引の代金決済 (4)ビジネス計算の基礎 1.度量衡の計算 2.外国貨幣の計算 3.割合に関する計算 4.割増に関する計算 5.割引に関する計算 6.商品の数量と代金の計算 7.仕入原価の計算 8.販売価格の計算 9.売上損益の計算 10.利息の計算	5	売買契約・売買条件, 売買契約の締結と履行の流れについて理解させる。 支払用具の特色や利用法について理解させる。 電子商取引のしくみや分類・代金決済について理解させる。		電卓を利用して計算方法を学びます。	
	3 経済と流通の基礎 (1)経済の基礎 1.経済生活と経済のしくみ 2.市場と価格 (2)ビジネスの発展 1.ビジネスの役割と諸活動 2.経済環境の変化とビジネス 3.ビジネスの課題 (3)流通の意義と役割 1.商業の成立と発展 2.商品流通の意義 3.流通の機能 4.流通機能の担当者 5.商品の種類 6.商品の流通経路 7.今日の流通	6	商品やサービスの生産・流通・消費に関する諸活動及びその全体的なつながりや基本的な仕組みを理解させる。	簿記の授業と連携します。		期 末 考 査	
	7	ビジネスの発展・拡大は, 経済発展の原動力となり, 生活を豊かにする役割があることを理解させる。 商業の成立と発展・商品流通の意義・流通機能や流通活動の形態・経営組織を理解させる。	全商電卓検定の受験が可能です。 現代社会の内容と関連します。				
	【課題・提出物等】 1 ノート・配付プリント等を整理し, 提出します。						
	【第1学期の評価方法】 1 期末の定期考査の成績, 小テスト, 提出物等の内容, 学習活動への意欲・態度などで評価します。 2 学期全体の評価は, 概ね期末の定期考査の成績で80%, 提出物等の内容で10%, 学習活動への意欲・態度で10%の配分でおこないます。						

第2学期	<p>(4) 売買業者のビジネス</p> <p>1. 小売商のビジネス 2. 一般小売商 3. 百貨店 4. 総合スーパー 5. スーパーマーケット 6. 専門店 7. ホームセンター(DIY店) 8. コンビニエンスストア 9. ディスカウントストア 10. ドラッグストア 11. 小売商の組織化 12. 集団立地 13. 無店舗小売商 14. 卸売商のビジネス 15. 仲介卸売商 16. 組織化した卸売商 17. 中央卸売市場</p> <p>(5) 流通活動とマーケティング</p> <p>1. マーケティングの意義 2. マーケティングの内容 3. マーケティングの考え方</p>	9	<p>流通経路の最終流通機関である卸売業者のビジネスや種類について関心を持たせる。</p> <p>生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業の流通に関連するビジネスを理解させる。</p>	<p>身近な例を考えてまとめます。</p>	中間 考 査
	<p>4 企業活動の基礎</p> <p>(1) 企業の形態と経営組織</p> <p>1. 企業の理念 2. 企業の出資者 3. 企業の種類 4. 企業の経営組織</p> <p>(2) 資金調達</p> <p>1. 資金の概念 2. 資金調達に有利な「会社」形態 3. 資金調達の分類</p> <p>(3) ビジネス担当者</p> <p>1. ビジネスの担当者 2. メーカーのビジネス 3. 物流業者のビジネス 4. 運送業者 5. 陸上輸送 6. 水上輸送 7. 航空輸送 8. 倉庫業者のビジネス 9. 包装の標準化 10. 物流システム 11. 金融機関のビジネス 12. 保険業者のビジネス 13. 情報通信業者のビジネス 14. サービス業者のビジネス</p> <p>(4) 企業活動と税</p> <p>1. 企業活動にかかわる税 2. 申告と納税</p> <p>(5) 雇用</p> <p>1. 雇用の形態 2. 雇用に伴う企業責任</p>	10	<p>企業には、どのような種類があるのか、さらにその経営組織や起業家精神、経営理念について関心を持たせる。</p> <p>企業の資金調達について関心を持たせ、流通に関連するビジネスの担当者(生産者・物流業者・金融機関・保険業者・情報通信業者・サービス業者)について理解させる。</p>	<p>平行して、電卓を利用した計算学習もします。</p> <p>全商電卓検定の受験が可能です。</p>	
	<p>(1) ビジネスの担当者 2. メーカーのビジネス 3. 物流業者のビジネス 4. 運送業者 5. 陸上輸送 6. 水上輸送 7. 航空輸送 8. 倉庫業者のビジネス 9. 包装の標準化 10. 物流システム 11. 金融機関のビジネス 12. 保険業者のビジネス 13. 情報通信業者のビジネス 14. サービス業者のビジネス</p> <p>(4) 企業活動と税</p> <p>1. 企業活動にかかわる税 2. 申告と納税</p> <p>(5) 雇用</p> <p>1. 雇用の形態 2. 雇用に伴う企業責任</p>	11	<p>企業にかかわる税の種類と概要について学習し、雇用形態や勤務形態、企業が負うべき社会的責任について理解させる。</p>		
	<p>12</p>				
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 ノート・配付プリント等を整理し、提出します。</p>					
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1 中間と期末の定期考査の成績、提出物等の内容、学習活動への参加の態度などで評価します。</p> <p>2 学期全体の評価は、概ね中間と期末の定期考査の成績で80%、提出物の内容で10%、学習活動への意欲・態度で10%の配分でおこないます。</p>					
第3学期	<p>5 ビジネスとコミュニケーション</p> <p>(1) ビジネスに対する心構え</p> <p>1. ビジネスに対する心構え 2. ビジネスの意義と必要性 3. 基礎的なビジネスマナー</p> <p>(2) 良好な人間関係とコミュニケーション</p> <p>1. 良好な人間関係とコミュニケーション 2. 企業内外のコミュニケーション</p> <p>(3) ビジネス情報の入手のしかた</p> <p>1. 情報の収集方法 2. 情報収集の留意点 3. インターネットからの叙法収集</p> <p>(4) ビジネス情報を活用する方法</p> <p>1. 情報の分析 2. 情報の伝達 3. 情報の保管</p>	1	<p>ビジネス活動を実践するうえで、必要とされる豊かな人間性やビジネスに対する望ましい心構えを身に付ける。</p>	<p>簿記の学習と連携します。</p> <p>商業高校生としてのビジネスマナーやコミュニケーションについて学習します。</p>	学 年 末 考 査
	2	<p>ビジネスの場面に応じたコミュニケーションのとり方やその意義を理解させる。</p>			
	3	<p>情報の収集は、ビジネスをおこなううえで欠くことのできない活動であることを理解し、効率よく情報を入力するための方法を身につける。</p>			
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 ノート・配付プリント等を整理し、提出します。</p>					
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1 学年末考査の成績、提出物等の内容、感想の内容など学習活動への参加の態度などで評価します。</p> <p>2 学期全体の評価は、概ね学年末考査の成績で80%、小テストや提出物の内容で10%、学習活動への意欲・態度で10%の配分でおこないます。</p>					
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>					

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」及び「知識・理解」の4つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探究を自指して意欲的に取り組むとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・ノート、配付プリント
思考・判断	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連からの確に把握し、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	・授業中の練習課題 ・ノート、配付プリント
技能・表現	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身に付け、経済社会の一員としてビジネスの諸活動にかかわる事柄を知識と技能で適切に処理できる。また、経済社会の一員としてビジネスの諸活動について適切に表現できる。	・授業中の練習課題 ・ノート、配付プリント
知識・理解	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。	・定期考査

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活に興味・関心を持ち、常に新聞や雑誌、ニュースなどから情報を収集する習慣を身に付けることが、広い視野と社会の変化に柔軟に対応できる能力を作り上げることにつながります。 ・自分の意見を発表する、人の話を聞き要点を整理する、グループで協力し作業をするといったことは、コミュニケーションの方法を習得するのに役立ちます。授業では積極的に行動・参加する態度が大切です。 ・レポートや感想文では、いろいろな資料や意見を参考にしながら、自分の考えや感じたことを発表したり、まとめたりすることが重要です。 ・ノートなどは、ちょっとした工夫で、とても見やすくなったり、考えを整理しやすくなり、後で役立ちます。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに対する心構えやマナーを、授業の中でしっかりと身に付けましょう。まず、あいさつやことばづかい、時間や約束を守るといった基本的なことから心がけることが大切です。

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・科目「ビジネス基礎」の学習を通じて、経済社会の動きを正しく見つめ、自分自身の未来や進路の実現の第一歩を踏み出してください。 ・レポートの書き方も学習します。 ・1年間の学習の中で、ビジネスの基礎的・基本的なことが分かるようになり、商業や経済関係の新聞記事やニュースが理解でき、ビジネスの動向を見る視野や考え方が広がります。 ・「売買に関する計算」では、電卓を使い、演習問題等で慣れる程度の計算をおこないます。
